

平成25年3月期 第1四半期 決算短信〔米国会計基準〕（連結）

（別紙）参考資料：「2013年3月期 第1四半期（平成25年3月期）連結業績説明会資料」

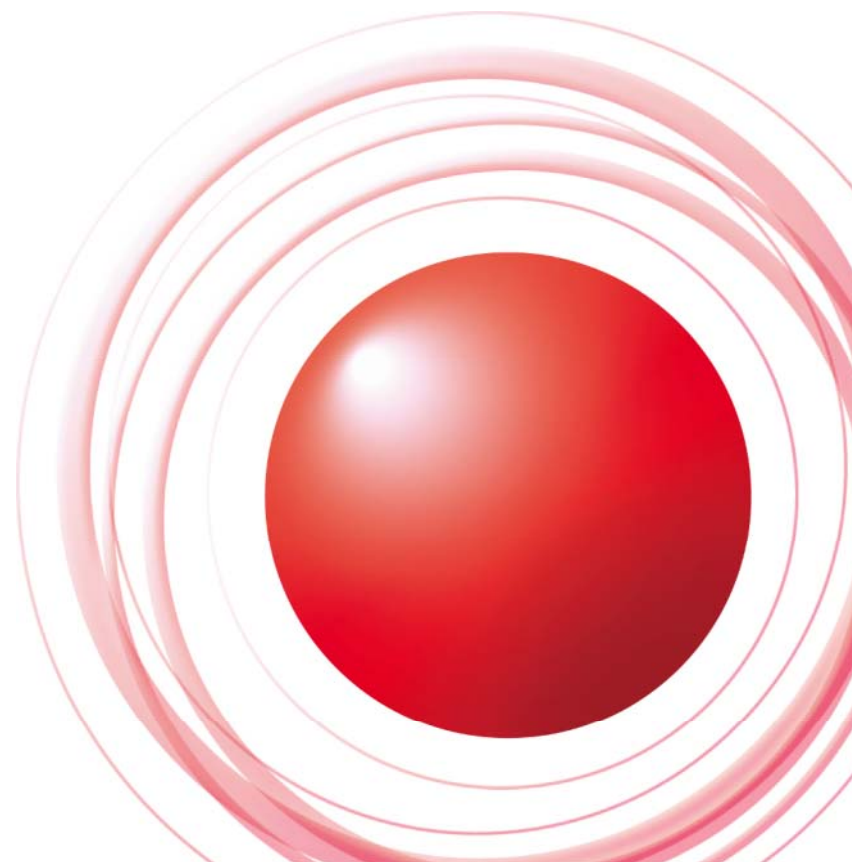
2013年3月期 第1四半期 連結業績説明会



株式会社インターネットイニシアティブ（証券コード：3774）

2012年8月7日

Ongoing Innovation



アジェンダ

I. 2013年3月期 第1四半期 総括

II. 2013年3月期 第1四半期 連結業績

III. ご参考資料

I. 2013年3月期 第1四半期 総括

<< 2013年3月期 第1四半期 実績 >>

・営業収益(売上高)	24,841百万円 (前年同期比 6.3%増)
・売上総利益	4,819百万円 (前年同期比 7.1%増)
・営業利益	1,374百万円 (前年同期比 50.2%増)
・税引前四半期純利益	1,373百万円 (前年同期比 58.7%増)
・当社株主に帰属する四半期純利益	897百万円 (前年同期比 75.0%増)

●事業進展・業績面ともに順調な1Qスタート

- ▶ インターネット接続サービス:(法人)広帯域利用により伸び加速、(個人)LTEサービス好調(2012/2提供開始)、前Q比で増収
- ▶ クラウドサービスのラインアップ継続強化、顧客基盤の継続拡大、信頼性による差別化
- ▶ 海外SI・米国クラウドを中心に国際事業は想定以上の立ち上がり、需要増により米国クラウド設備前倒し増設中
- ▶ ATM運営事業ようやく黒字化、ストックビジネスとしてATM継続導入にあわせ業績拡大の見通し
- ▶ 中期展望したSDN基盤開発を遂行中、下期目処に製品リリース予定
- ▶ 粗利継続拡大・販売管理費スケールメリット等により増益進展中

●クラウドサービス「IIJ GIO」順調に拡大中

- ▶ 1Q12クラウド売上: 12億円、前年同期比約7億円増、2012年6月末導入案件数:約1,300件(3月末:約1,100件)
- ▶ 松江コンテナDC商用提供拡大、「グリーンIT賞」「ベスト地域貢献賞」を受賞
- ▶ IIJ GIO仮想化プラットフォームVWシリーズ(8月より提供開始)にてハイブリッドクラウド市場をターゲット、商談積み上げ中
- ▶ 国内パブリッククラウド市場でナンバーワンシェアとの評価(富士キメラ総研2012年7月レポート)

●国際事業の順調な立ち上がり

- ▶ 1Q12国際事業売上: 約10億円、SNS事業者向け海外大口サーバ構築案件遂行、米国IIJ GIO稼働拡大等
- ▶ 2012/4にIIJエクスレイヤ取得、サーバ構築案件等で協働・連携、2QよりPL連結開始

Ⅱ-1. 2013年3月期 第1四半期 連結実績サマリー

単位: 億円

	売上比 1Q12 (12/4~12/6)	売上比 1Q11 (11/4~11/6)	前年同期比	売上比 FY12上期計画 (12/4~12/9)	前年上期比
営業収益 (売上高)	248.4	233.6	6.3%	505.0	7.0%
売上原価	80.6% 200.2	80.7% 188.6	6.2%	—	—
売上総利益	19.4% 48.2	19.3% 45.0	7.1%	—	—
販売管理費等	13.9% 34.5	15.4% 35.9	Δ4.0%	—	—
営業利益	5.5% 13.7	3.9% 9.1	50.2%	5.3% 27.0	10.3%
税引前 四半期純利益	5.5% 13.7	3.7% 8.7	58.7%	5.0% 25.0	9.1%
当社株主に 帰属する 四半期純利益	3.6% 9.0	2.2% 5.1	75.0%	2.8% 14.0	2.8%

Ⅱ-2. 営業収益(売上高)の推移

ネットワークサービス

法人向けインターネット接続サービス
個人向けインターネット接続サービス
アウトソーシングサービス
WANサービス

システムインテグレーション(SI)

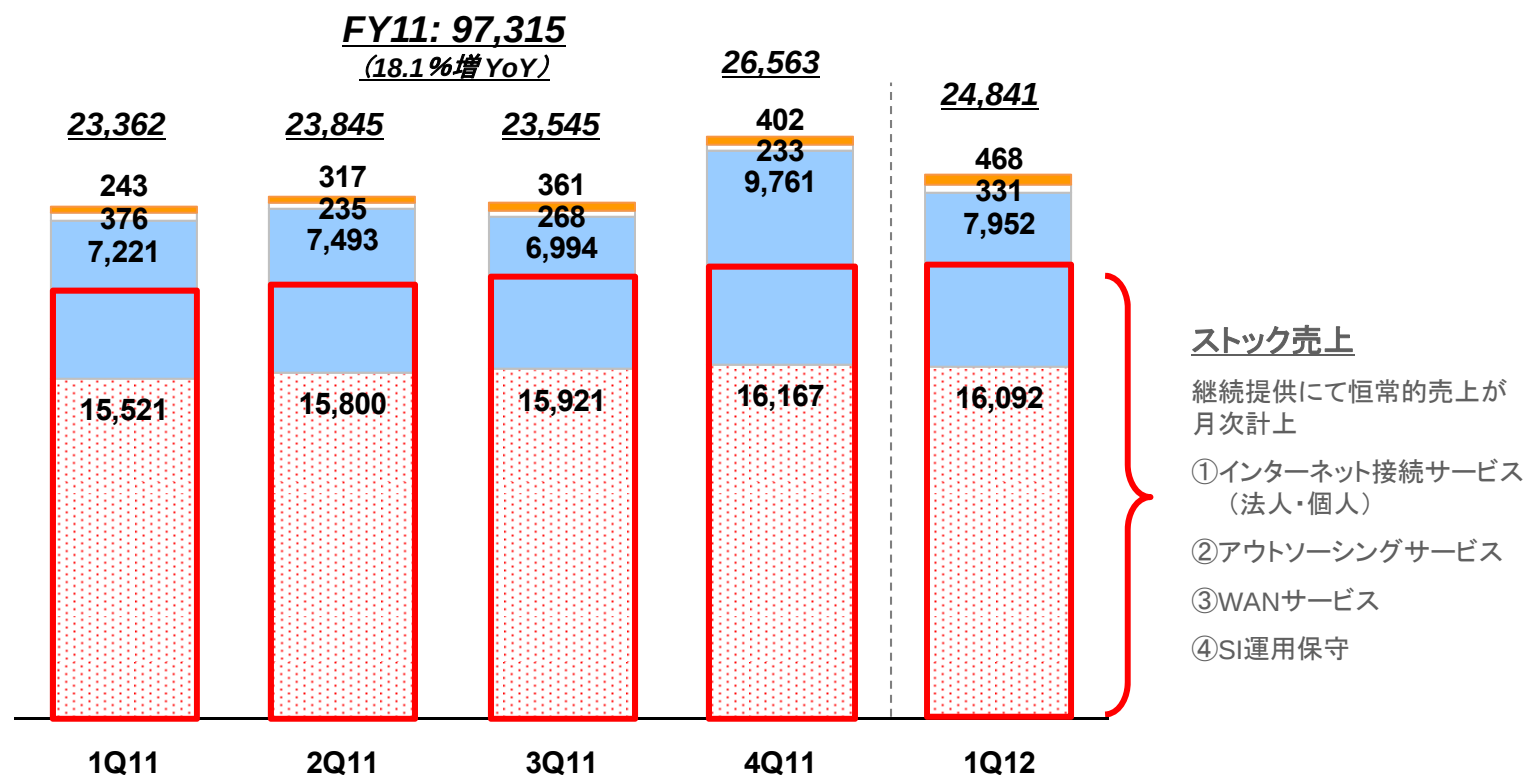
SI構築
SI運用保守

機器販売

ATM運営事業

単位: 百万円

ストック売上



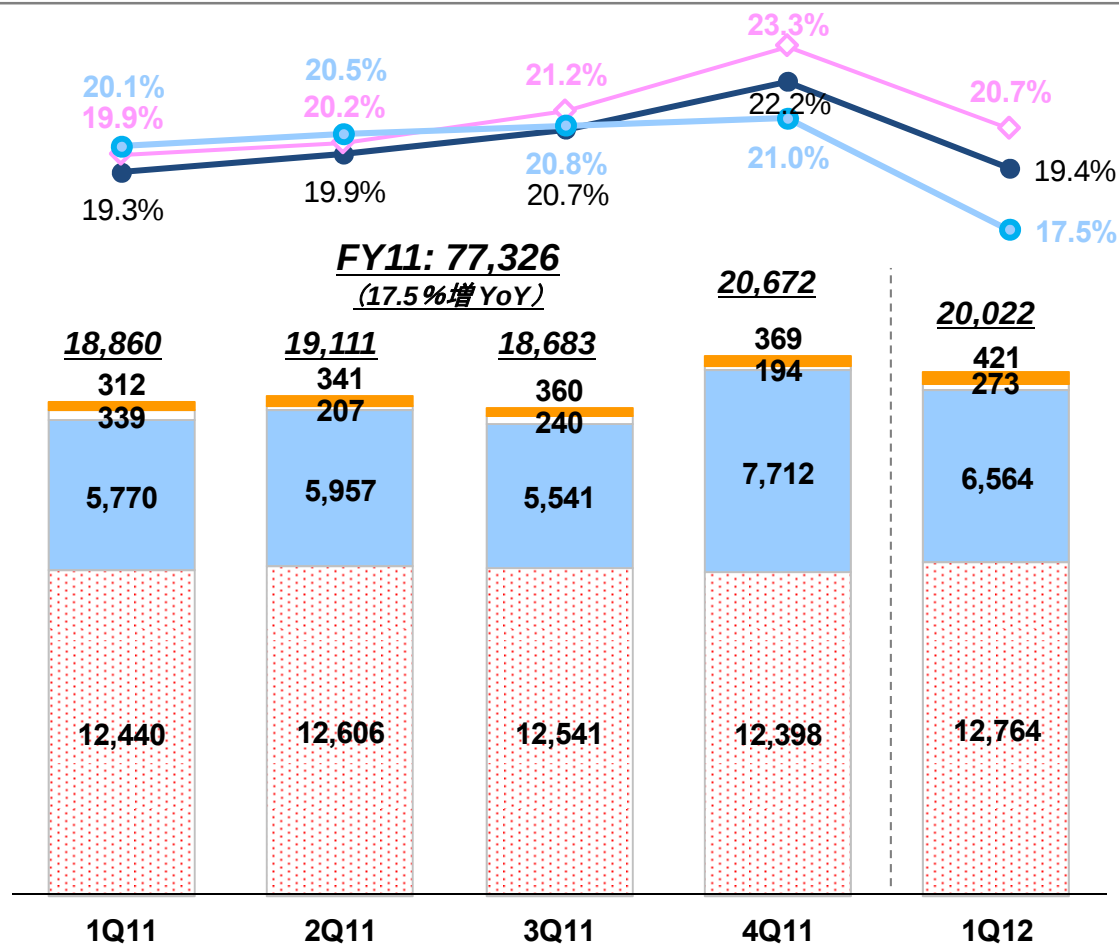
- ◆1Q12ネットワークサービス: 16,092百万円(1Q11比 3.7%増)
- ◆1Q12システムインテグレーション: 7,952百万円(1Q11比 10.1%増)
- ◆1Q12機器販売: 331百万円(1Q11比 12.0%減)
- ◆1Q12ATM運営事業: 468百万円(1Q11比 224百万円・92.1%増)

- ◆1Q12ストック売上: 21,283百万円(1Q11比 5.2%増)
➤売上構成比率: 85.7%
- ◆1Q12一時売上(SI構築+機器販売): 3,091百万円
(1Q11比 6.8%増)

Ⅱ-3. 売上原価・売上総利益率の推移

売上原価 ネットワークサービス システムインテグレーション(SI) 機器販売 ATM運営事業
 売上総利益率 ネットワークサービス システムインテグレーション(SI) 全体売上総利益率

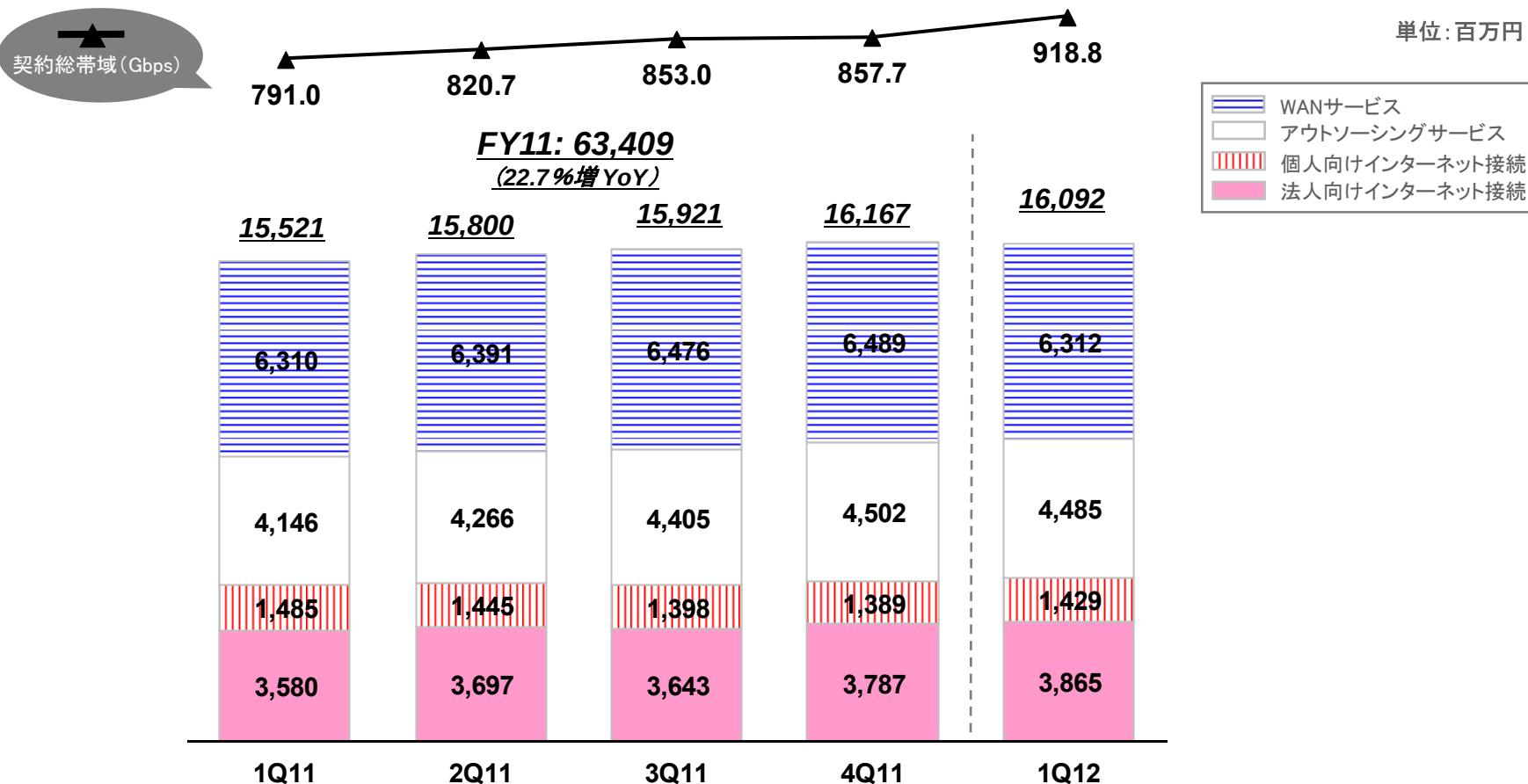
単位: 百万円



- ◆ 1Q12売上総利益: 4,819百万円 (1Q11比 318百万円・7.1%増)
 - ネットワークサービス売上総利益: 3,328百万円 (1Q11比 246百万円・8.0%増)
 - システムインテグレーション売上総利益: 1,388百万円 (1Q11比 64百万円減)
 - ATM運営事業売上総利益: 46百万円 (1Q11: △68百万円、4Q11: 33百万円)

Ⅱ-4. ネットワークサービス

① 売上の推移

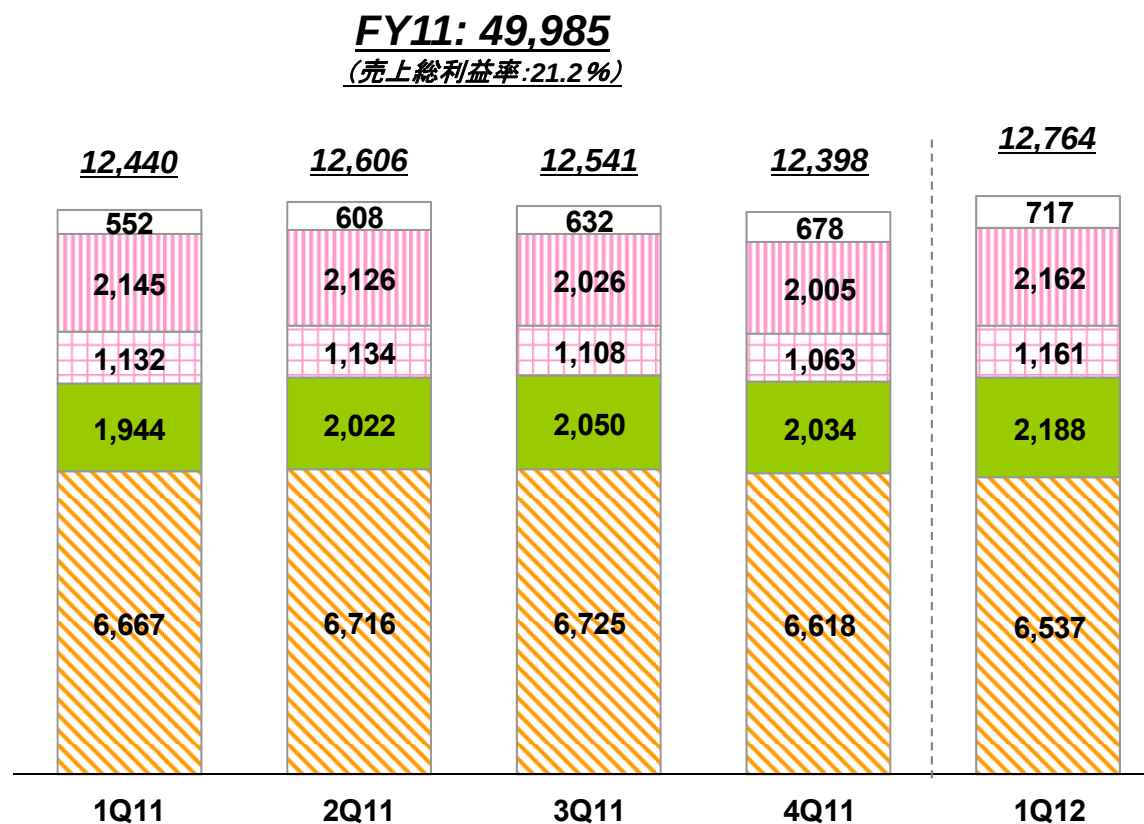


- ◆1Q12法人向けインターネット接続サービス: 1Q11比 285百万円・7.9%増、4Q11比 78百万円・2.1%増
 - IPサービス売上高はGbps超顧客の広帯域利用進展等により増収。1Q12末Gbps超契約件数: 142件 (1Q11末: 131件)
 - IIJモバイルは新規案件獲得が順調に推移。1Q12末契約件数: 47,442件 (1Q11比 4,108件増、4Q11比 1,113件増)
- ◆1Q12個人向けインターネット接続サービス: 1Q11比 56百万円減、4Q11比 40百万円・2.9%増
 - IIJmio/LTEサービス順調。7月末受注契約件数: 約25,000件 (4月末受注契約件数: 約13,000件)、1Q12売上: 1億円強
- ◆1Q12アウトソーシングサービス: 1Q11比 340百万円・8.2%増、4Q11比 16百万円減。期初価格見直し等にて4Q11比微減
- ◆1Q12WANサービス: 1Q11比 2百万円増、4Q11比 177百万円減。期初価格見直し等にて4Q11比減

Ⅱ-4. ネットワークサービス

② 原価の推移

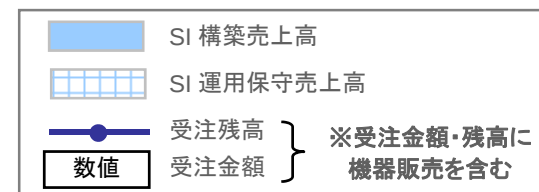
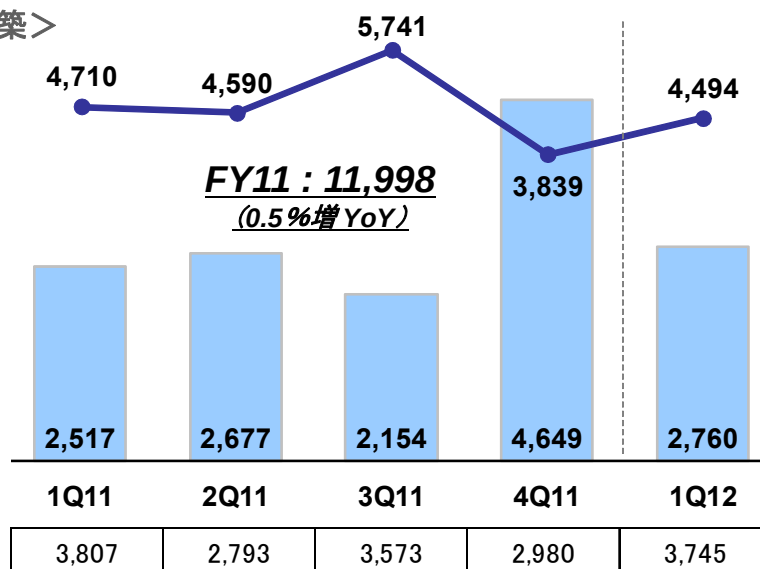
単位: 百万円



- ◆ 1Q12ネットワークサービス原価: 1Q11比 324百万円・2.6%増、4Q11比 366百万円・3.0%増
- 回線関連費は継続的に減少
 - 新年度による人件関連費等増、モバイル相互接続費反動増等により4Q11比増加

Ⅱ-5. システムインテグレーション(SI) ① 売上・受注等の推移

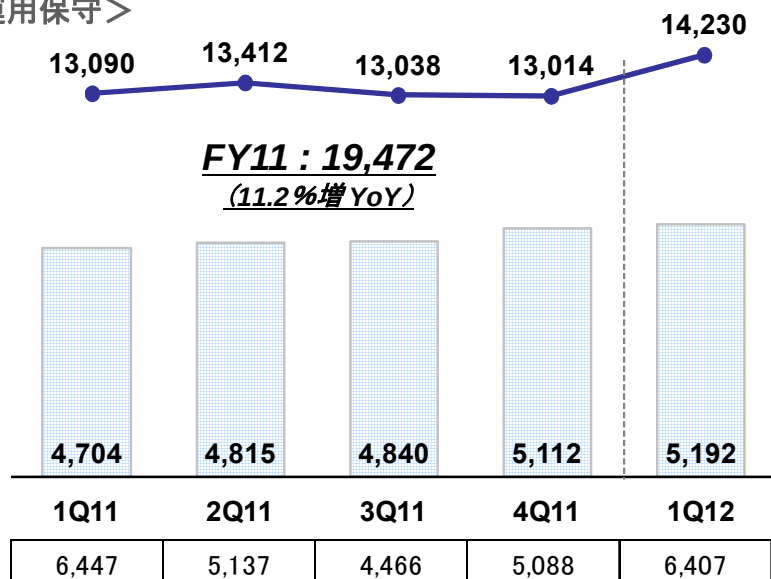
<SI 構築>



SI 構築等の状況

- ◆ 1Q12売上: 1Q11比 243百万円・9.7%増
 - 引き続き中小規模案件を多数獲得
 - 海外SI案件計上、SNS事業者向け大口サーバ構築案件一部遂行、2Q以降IIJエクスレイや売上也計上予定
 - 案件数・状況は1Q11より若干改善の兆し
- ◆ 1Q12末受注残高: 1Q11比 216百万円減
 - 1Q12受注金額: 1Q11比 62百万円減とほぼ同規模

<SI 運用保守>

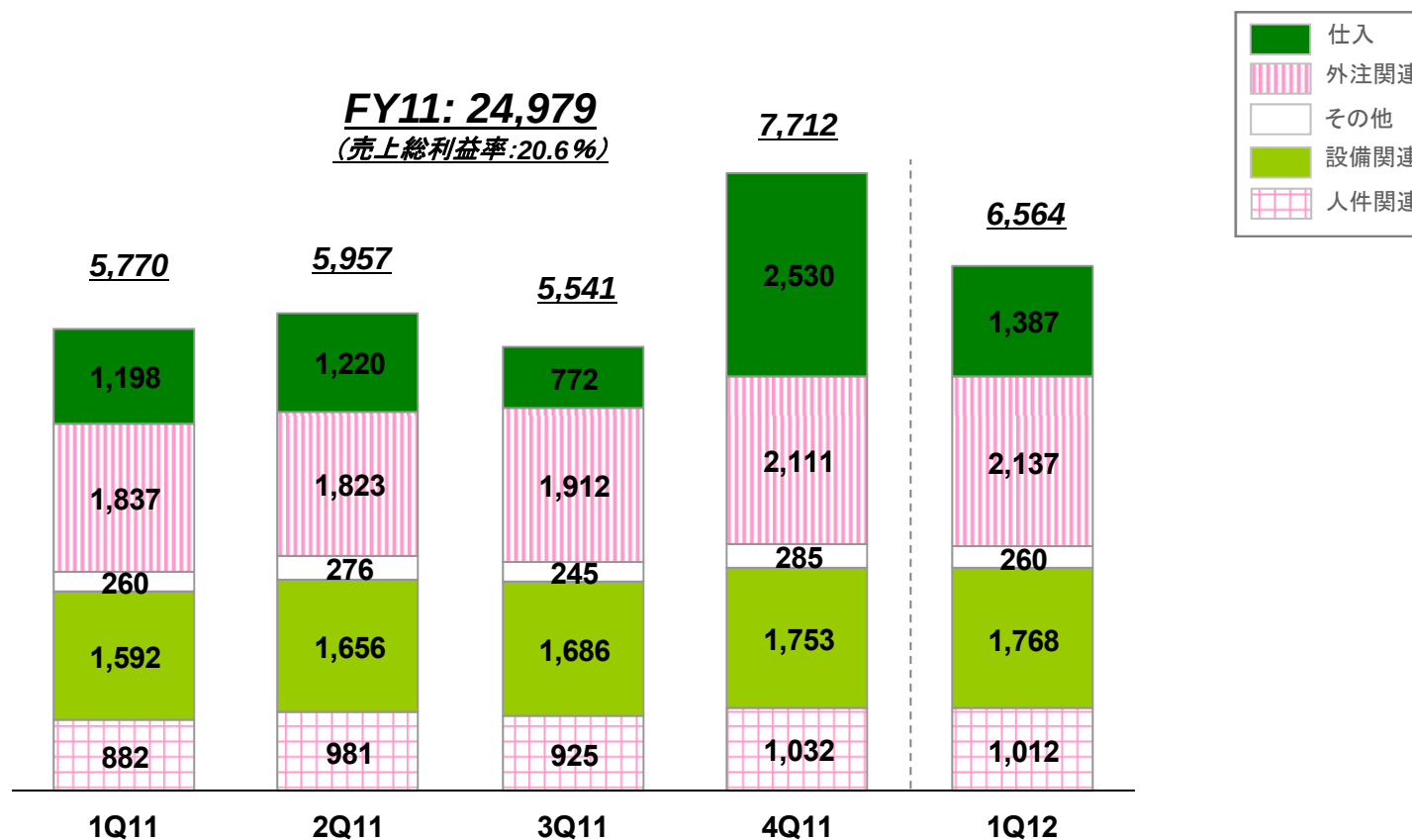


SI 運用保守の状況

- ◆ 1Q12売上: 1Q11比 487百万円・10.4%増
 - IIJ GIOコンポーネントサービスが引き続き伸長
 - GIO売上全体の約80%がSI運用保守に計上
- ◆ 1Q12末受注残高: 1Q11比 1,140百万円増
 - 1Q12受注金額: 1Q11比 40百万円減とほぼ同規模

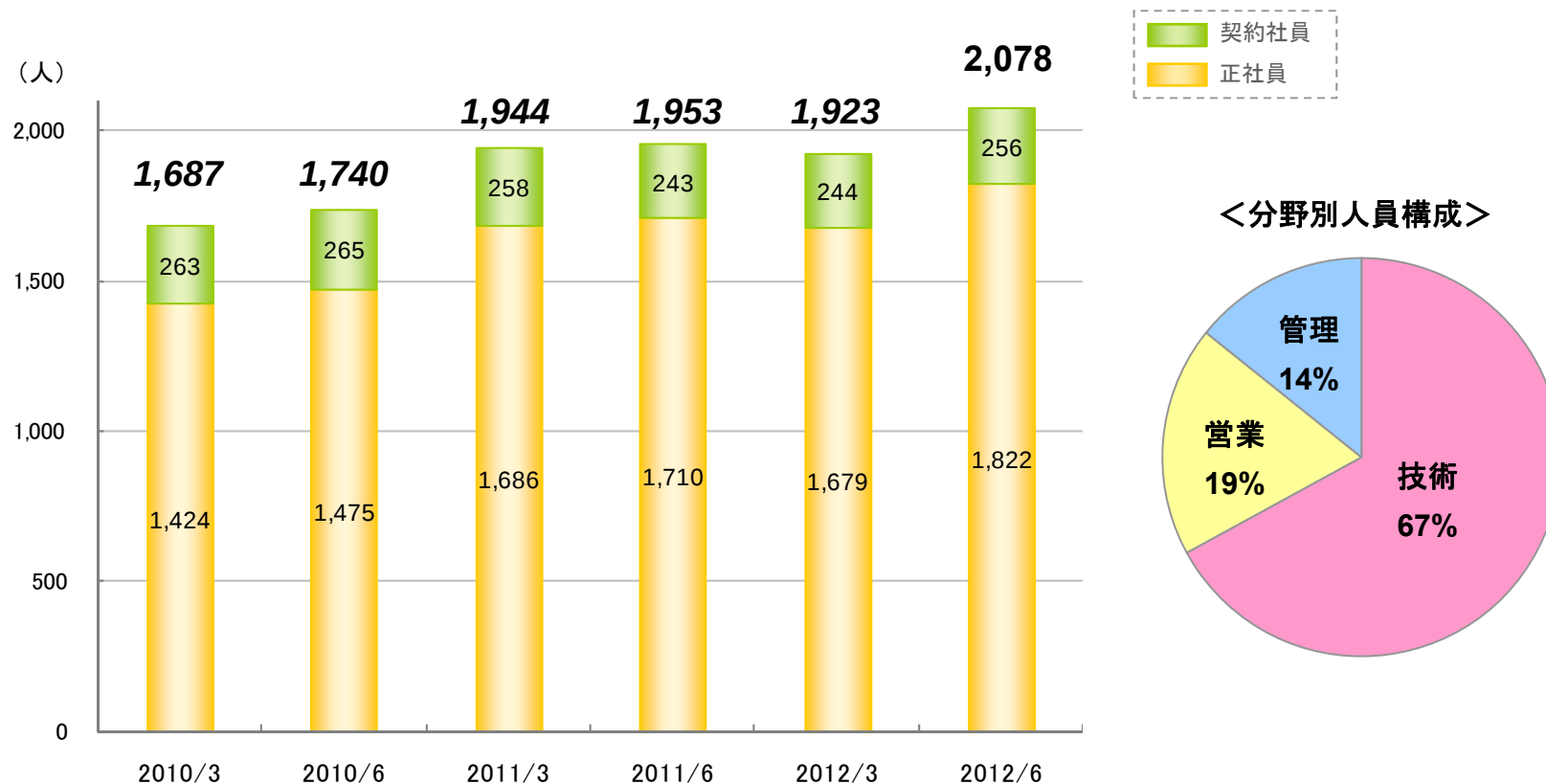
Ⅱ-5. システムインテグレーション(SI) ② 原価の推移

単位: 百万円



- ◆ 1Q12 SI原価: 1Q11比 794百万円・13.8%増
 - 1Q12末常駐外注人員数: 497名(1Q11末比 100名増、4Q11末比 22名増)
 - SI売上総利益: 1,388百万円(1Q11比 64百万円減)
 - 1Q12は仕入構築案件比率が高く仕入増、粗利低減要因

Ⅱ-6. 連結従業員数の推移



四半期
人件関連費用総額
(売上高比率)

2,887
(14.7%)

2,925
(18.5%)

3,554
(13.9%)

3,627
(15.5%)

3,613
(13.6%)

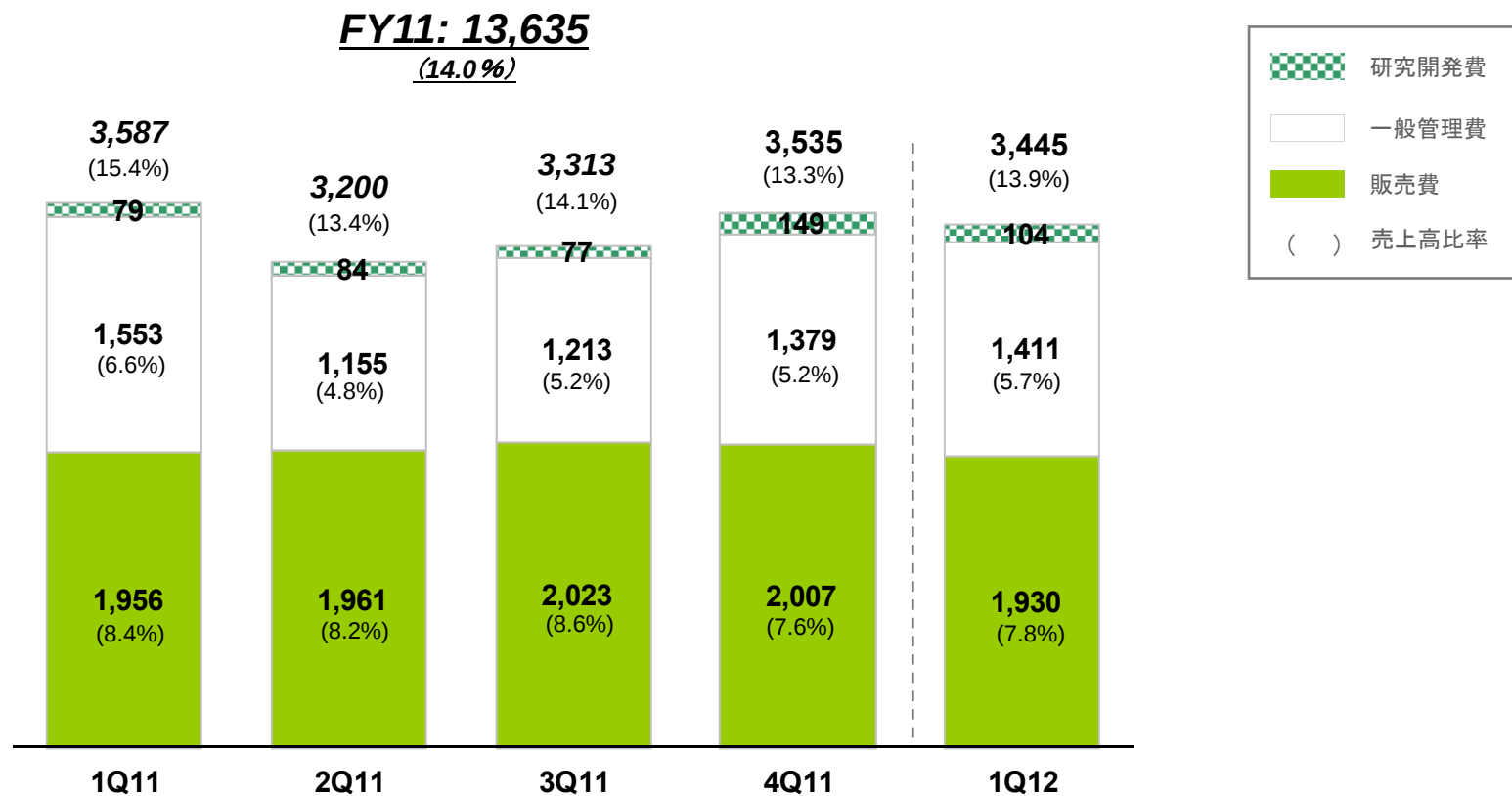
3,741
(15.1%)

単位: 百万円

- ◆1Q12末連結従業員数: 2,078名(1Q11末比 125名増、4Q11末比 155名増)
 - 2012年4月入社新卒社員数: 75名(2011年4月実績: 44名)
 - IIJエクスレイヤ従業員数: 57名
 - 1Q12総人件関連費用: 1Q11比 114百万円増

Ⅱ-7. 販売管理費・研究開発費(SG&A)の推移

単位: 百万円

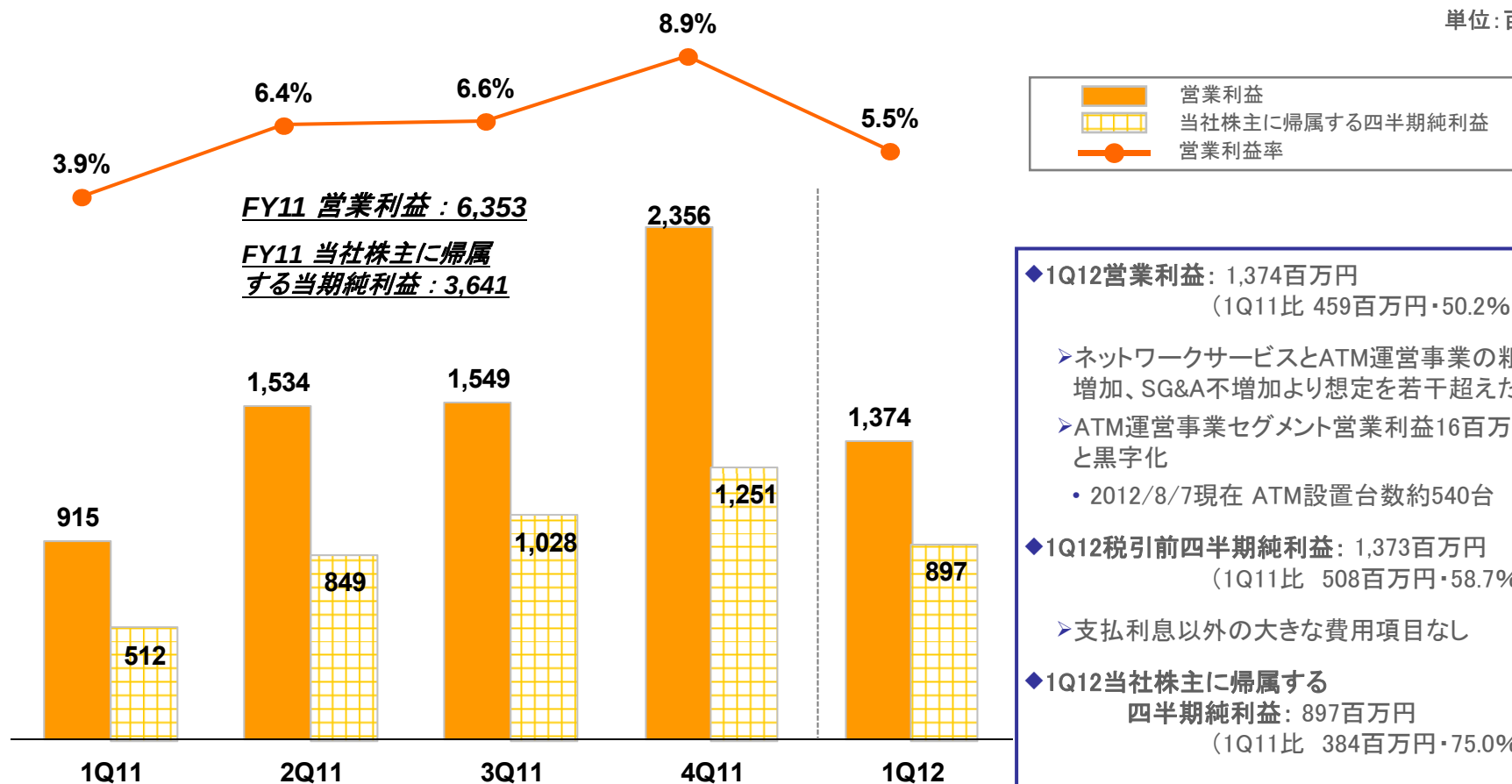


◆1Q12 SG&A: 1Q11比 142百万円減、4Q11比 90百万円減

- 人員増加による人件関連費増、広告宣伝費減、1Q11の子会社引越し費用反動減等より、一時的に前年同期比減
- 売上増加に直接的には連動せず安定推移

Ⅱ-8. 営業利益・当期純利益の推移

単位: 百万円



◆1Q12営業利益: 1,374百万円
 (1Q11比 459百万円・50.2%増)

- ネットワークサービスとATM運営事業の粗利増加、SG&A不増加より想定を若干超えた着地
- ATM運営事業セグメント営業利益16百万円と黒字化
 - ・2012/8/7現在 ATM設置台数約540台

◆1Q12税引前四半期純利益: 1,373百万円
 (1Q11比 508百万円・58.7%増)

- 支払利息以外の大きな費用項目なし

◆1Q12当社株主に帰属する
 四半期純利益: 897百万円
 (1Q11比 384百万円・75.0%増)

- i-revo、インターネットマルチフィード等による持分法利益

	1Q11	2Q11	3Q11	4Q11	1Q12
法人税等	425	631	548	922	515
持分法投資損益	40	37	77	△30	33
非支配持分に帰属する 四半期純損失	31	18	11	6	6

Ⅱ-9. 連結バランスシート(サマリー)の状況

単位: 百万円

	2012年3月末	2012年6月末	前期末比
現金及び現金同等物	13,537	11,470	△ 2,067
売掛金	15,722	14,404	△ 1,318
たな卸資産	752	888	+136
前払費用	1,848	3,419	+1,571
その他投資	2,938	3,235	+296
有形固定資産	19,736	20,828	+1,093
のれん及び その他無形固定資産	11,185	11,230	+46
買掛金及び未払金	9,753	9,530	△ 223
未払法人税等	2,211	171	△ 2,040
銀行借入金(短期・長期)	12,000	11,900	△ 100
欠損金	△10,990	△10,448	+542
その他包括損失累計額	△24	△16	+8
当社株主に帰属する 資本合計	32,688	33,247	+559
総資産	73,493	73,507	+14

▶ 法人税等の支払い等があり減少

▶ 非上場株式 2,053百万円
▶ 売却可能有価証券 828百万円
▶ 出資金 353百万円

▶ クラウド関連設備投資等により増加

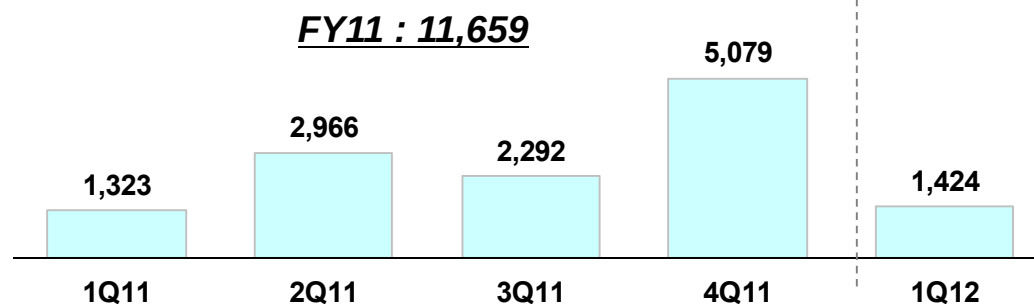
▶ 当社株主に帰属する資本比率
(株主資本比率)

・12/6末: 45.2%
・12/3末: 44.5%

Ⅱ-10. 連結キャッシュ・フローの状況

営業キャッシュ・フロー

単位: 百万円

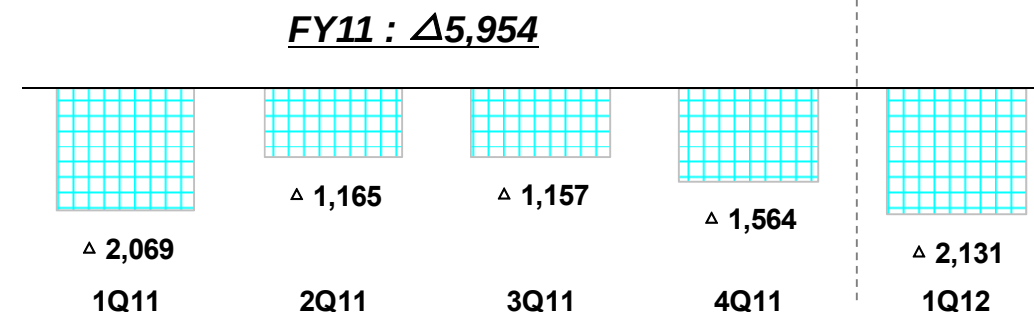


営業キャッシュ・フロー

- 営業利益の増加
- 未払法人税等の減少 2,045百万円
- 前払費用及びその他流動資産等の増加 1,943百万円

等

投資キャッシュ・フロー

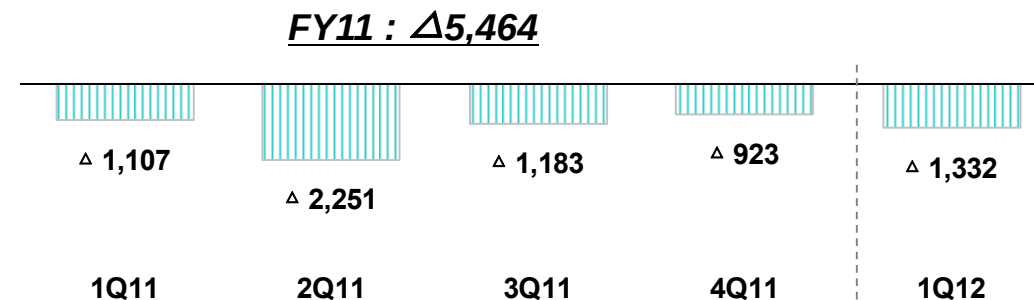


投資キャッシュ・フロー

- 有形固定資産の取得 1,658百万円

等

財務キャッシュ・フロー



財務キャッシュ・フロー

- キャピタル・リース債務の元本返済 877百万円
- 期末配当金支払い 355百万円

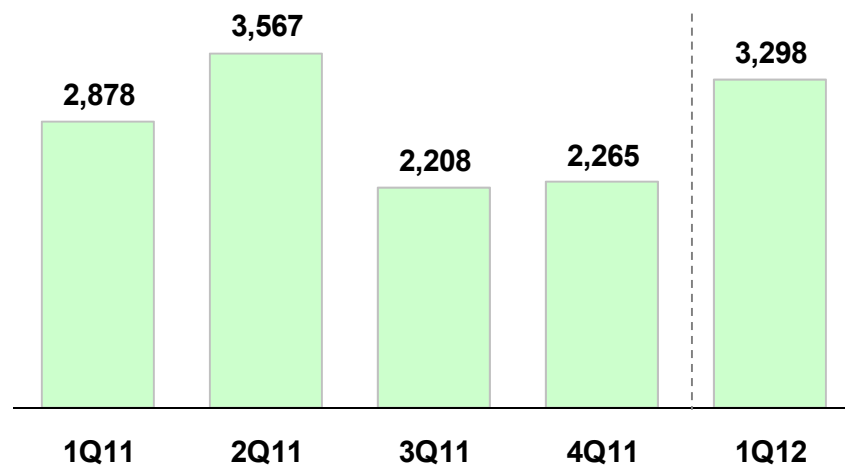
等

Ⅱ-11. CAPEX・減価償却・Adjusted EBITDA の状況

CAPEX（設備投資額、キャピタルリースを含む）

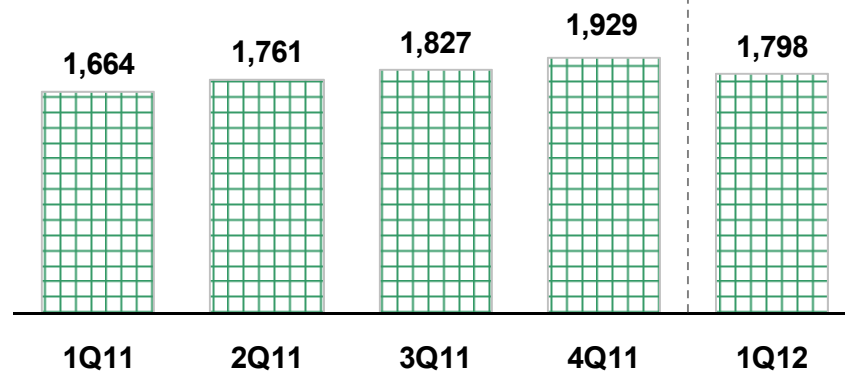
単位：百万円

FY11 : 10,917



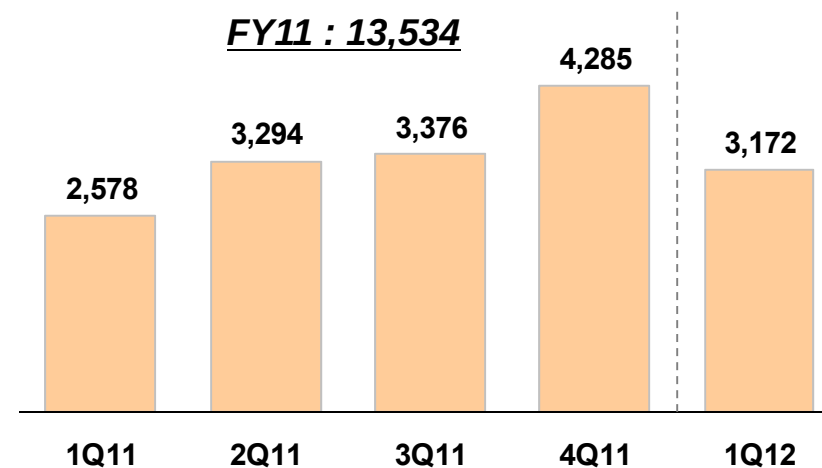
減価償却等

FY11 : 7,181



Adjusted EBITDA（償却前営業利益）

FY11 : 13,534



Ⅲ-1. クラウドサービス「IIJ GIO」の進展

IIJ GIO

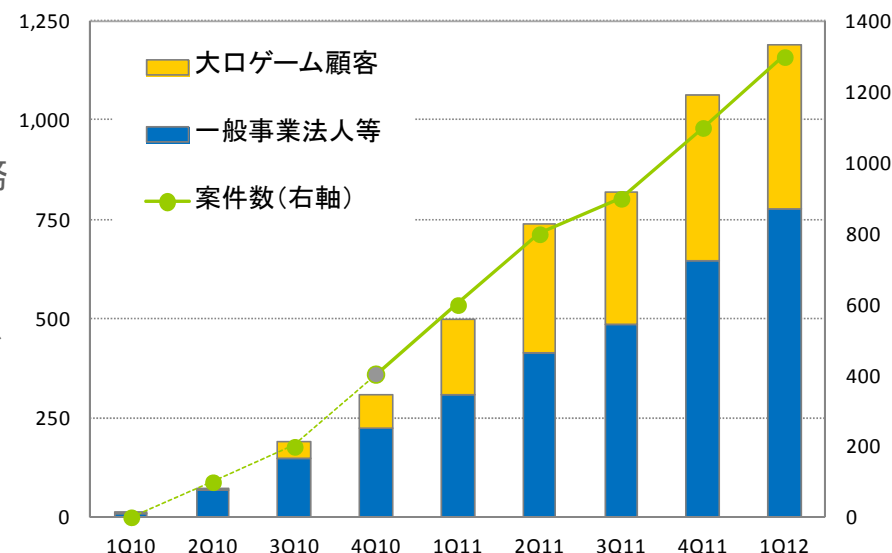
■ 国内 IIJ GIO 事業進捗

- 1Q12売上高:12億円 (4Q11:10.5億円、1Q11:4.9億円)
 - ・6月次売上高:4.2億円、1Q12末案件数:約1,300件
- 上記IaaS・PaaS売上高に加え、GIOベースの特定業務SaaS(FX、SmartPOS 等)も順次サービス化
 - ・1Q12 SaaS売上高は1.5億円(上記の外数)
- SFA・人事システム等社内業務系システムへのクラウド適用少しずつ浸透、既存顧客の拡張案件複数獲得
- FY12計画: 売上高70億円超、通期黒字化
設備投資はFY11とほぼ同規模予定

(百万円)

IIJ GIO売上高推移

(件)



■ サービスラインアップの継続拡充

- IIJ GIO 仮想化プラットフォームVWシリーズ
 - ・VMware ハイパーバイザ機能を提供、ハイブリッドクラウドをターゲット
 - ・8月サービス開始、順次案件獲得・プロスペクト積み上げ
- IIJ GIOソーシャルアプリ支援ソリューション
 - ・Fusion-IO搭載モデル含むハイスpekク専用サーバ
- IIJ GIO コンポーネントサービスデータベースアドオン
 - ・オラクルDB月額課金でクラウド提供(国内初)

IIJ GIO導入事例



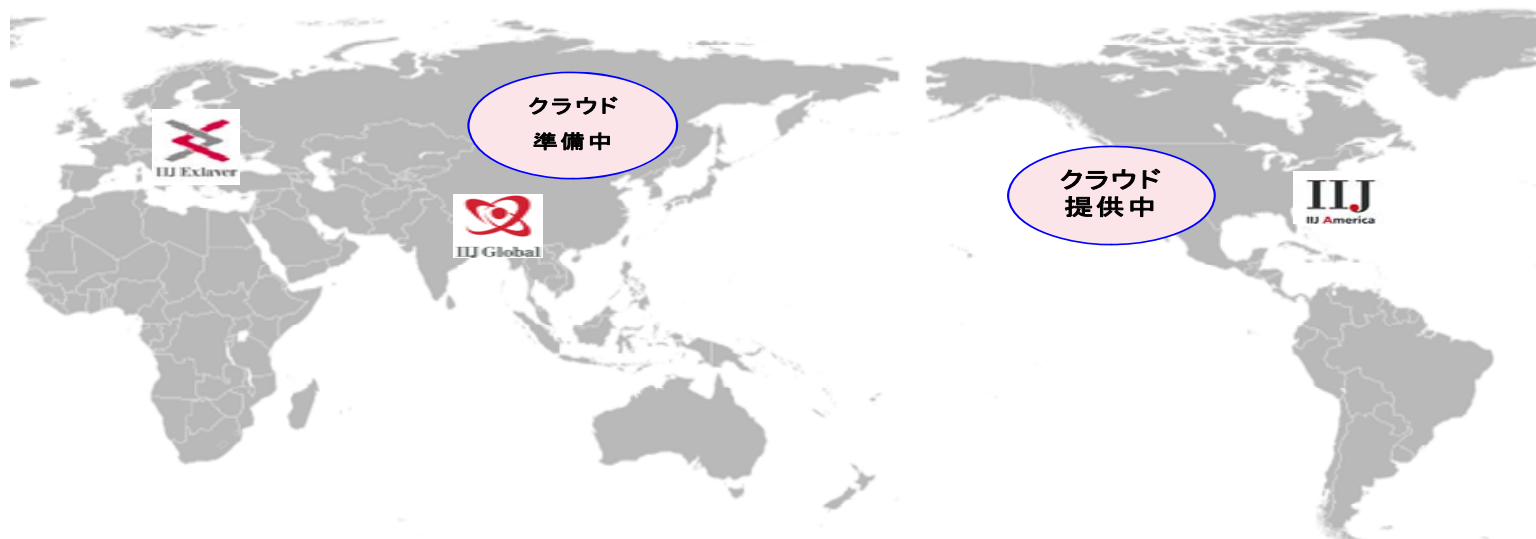
Ⅲ-2. 国際事業の進展

■ 1Q12国際事業概況

- 1Q12売上高:約10億円、想定を上回り進捗
- SNS向け米国大口サーバ構築運用案件の一部遂行
- SNS向け中心に米国クラウド順調に立ち上がり稼動中
 - ・2012/3より提供開始
 - ・需要増に応じサーバ設備継続拡充中
- 国際WAN案件 商談規模 約200件と増加中
- IJエクスレイヤ 2012年4月子会社化
 - ・従業員57名、年間売上高8億円規模、2QよりPL連結
 - ・海外サーバ構築案件等にて連携・協働

■ 今後のグローバル展開

- 海外大口サーバ構築案件の継続獲得
- 顧客需要に応じた更なる海外クラウド展開の検討・企画中
- アジア地域でのプレゼンス強化
 - ・タイ駐在員事務所の法人化(2012年8月)



Ⅲ-3. 2013年3月期連結業績見通し（変更無し:2012/5/15発表）

単位:億円

	FY2012 見通し (12/4~13/3)	FY2011 実績 (11/4~12/3)	前年度比	
営業収益 (売上高)	1,070.0	973.1	96.9	10.0%
営業利益	75.0	63.5	11.5	18.0%
税引前 当期純利益	69.0	59.8	9.2	15.5%
当社株主に帰属 する当期純利益	40.0	36.4	3.6	9.9%
一株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益	19,735円	17,964円	+1,771円	9.9%
一株当たり 配当金	3,500円 (年間)	3,250円 (年間)	+250円	7.7%

※ 事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述(forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) サービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下及び事業機会の逸失、
- 3) ネットワーク関連費用、外注費、人件費等、費用規模の想定を超える増加、
- 4) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 5) 投資有価証券、営業権等ののれん資産の価値変動及び実現、

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法(Securities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

※ お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ (経営企画部)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL: 03-5259-6500 FAX: 03-5259-6311

URL: <http://www.ij.ad.jp/ir> E-Mail: ir@ij.ad.jp

